

報道関係各位

2025 年 4 月 9 日
株式会社アサヒパック**“日本のお米”が直面する問題を知って欲しい！ 一緒に戦う仲間も欲しい！！****ライス オア ダイ
米袋専門メーカーのアサヒパックがウェブページ「Rice or Die」を 4 月 9 日に公開**

お米の袋の専門メーカー 株式会社アサヒパック（大阪市住吉区 代表取締役：山澄 正一郎）では、『日本の食文化の素晴らしさを発信すること』『お米の消費拡大に尽力すること』などを自社の企業理念の一つとして定めており、これを「ごはん食推進活動」と銘打ち、積極的に取り組んでおります。

今回、私たちがこのような活動を行う“動機”に当たる「差し迫った課題」についてまとめたウェブページ「Rice or Die」を 4 月 9 日（水）に公開しました。

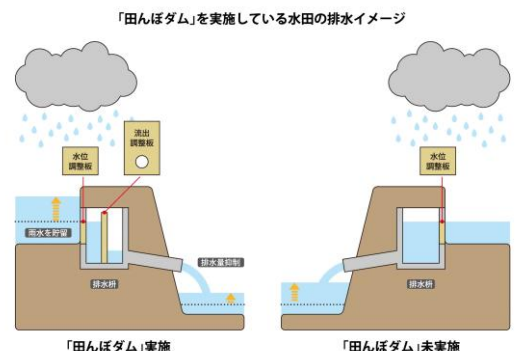
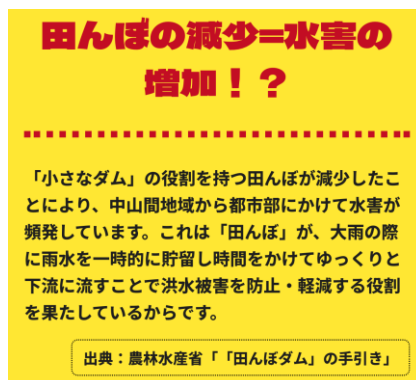
ウェブページ「Rice or Die」：<https://www.asahipac.co.jp/riceordie/>



本ウェブページは、

- ① “日本のお米”が直面する問題を、消費者をはじめとした皆さまに今一度強く伝えたい
- ② 業界業種の垣根を越えて、同様の課題感を持って共に取り組んでくれる仲間を広く募りたい

との思いから制作しました。これからを担う若い世代の方々にも「自分事」として受け取っていただけるよう、インパクトのあるイラストや配色、グラフと図解などを用いた分かりやすい解説で構成し、ページ最下部には賛同いただける企業・団体を募るための問い合わせフォームを設置しております。なお、使用したイラストは全て弊社所属のデザイナーが作成いたしました。



【報道問い合わせ先】

株式会社アサヒパック 担当：広報室 小林 TEL：03-5616-6664／mail：d.kobayashi@asahipac.co.jp

● このウェブページが目指すこと

現在、お米への社会的関心が高まっています。消費者の目線で伝える主要メディアでは『お米の価格は一体いつ安くなるのか』に軸足を置いた報道が連日なされています。他方、生産者からは『ようやく持続可能な適正価格へと“戻った”』というお声も聞こえてきます。とはいえ、直面している問題はこの“価格こと”だけではありません。

本ウェブページでは「**水田の耕作放棄による農村環境の変化**」、「**農家の高齢化と後継者の不足**」、「**お米の消費減少と食料自給率**」に焦点を当て、先述のような消費者と生産者の“溝”を少しでも埋めること、賛同いただいた皆さまとの活動をととして「お米の消費拡大」への機運を高めることを目指します。詳しくはウェブページ内専用フォームまで、ぜひお気軽にお問い合わせください！なお、皆さまのお取り組みについては、今後継続してレポートしてまいります。

● アサヒパックの「ごはん食推進活動」について

お米を中心とした食生活は「日本の文化」であるだけではなく、健康的な食生活の大きな要でもあります。また、水田の広がる田園風景は土砂流出の多い日本の国土を守る環境保全の役割も担っています。「お米専用の包装資材供給」という米穀流通の一端を担う私たちアサヒパックでは、日本の食文化が途絶えることの無いよう、その中心である「お米」を次の世代に確実に繋いでいくため、様々な形で活動を行っています。



【Instagramでご飯のお供を紹介】



【ごはん食推進ポスターを配布】

また「お米」は、国内で自給できる穀物として「日本の食料安全保障の要」とされてきました。ところが現在、その役割が揺らぎ始めています。不穏な空気が漂いつつある昨今の国際情勢の中で、私たち日本人にとって『**Rice or Die（米か、死か）**』というこの問いは、**決して誇張ではないと考えています**。未来のためにも、引き続きこの活動を拡大してまいります。

※活動について詳しくは[こちら](#)

● 会社概要



会社名：株式会社アサヒパック

本社所在地：大阪府大阪市住吉区上住吉 1-4-2

代表者名：山澄 正一郎

設立：昭和 32 年（1957 年）2 月

資本金：2,000 万円

社員数：60 名

事業内容：お米包装用の袋およびお米販売促進商品の企画・製造・販売

URL：<https://www.asahipac.co.jp/>

【報道問い合わせ先】

株式会社アサヒパック 担当：広報室 小林 TEL：03-5616-6664 / mail：d.kobayashi@asahipac.co.jp